平安時代

名前

問1　平安時代、11世紀頃の日本の歴史について述べた資料において、当時の文化の広まりとともに、漢字を簡略化したり、その一部を取ったりして作られた日本独自の文字を用いて『源氏物語』が執筆されたことが示されています。この時、新しく生み出された文字を何といいますか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 万葉仮名
2. 仮名文字
3. 象形文字
4. ハングル

問2　平安時代末期、武士として初めて太政大臣の官職に就き、政治の実権を握った人物は誰ですか。この人物は、現在の神戸市にあたる大輪田泊を整備し、中国との貿易を積極的に進めたことでも知られています。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. 源頼朝
2. 平清盛
3. 北条時宗
4. 足利義満

問3　平安京への遷都から鎌倉幕府の成立に至るまでの約400年間の変遷について、政治体制の変化を説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）

1. 天皇を中心とした律令政治の再建を目指して始まったが、のちに藤原氏による摂関政治や上皇による院政が行われ、最終的に武士が実権を握る体制へと移行した。
2. 地方の豪族を統制するために墾田永年私財法を廃止したが、荘園の拡大を止めることができず、最終的に足利氏が幕府を開いて地方分権を進めた。
3. 大陸との交易を完全に遮断するために都を移したが、平氏による日宋貿易の拡大をきっかけとして、再び中国との朝貢貿易を中心とする国家に戻った。
4. 聖徳太子の摂政就任により中央集権国家の基礎が築かれたが、貴族の勢力争いが激化したことで、天皇が直接政治を行う親政が最後まで維持された。

問4　11世紀半ばの日本では、仏教の教えが衰える時代が来るとする末法思想が広まり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰が盛んになりました。この信仰に基づき、時の摂政・関白であった人物が宇治に建立し、阿弥陀如来像を安置した建築物を次から選びなさい。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 平等院鳳凰堂
2. 日光東照宮
3. 伊勢神宮
4. 唐招提寺

問5　奥州藤原氏が拠点とした平泉に建立され、建物全体が金箔で覆われ、内部の祭壇や仏像が豪華に装飾されている、当時の東北地方の経済力と高い文化水準を象徴する建物の名称を選びなさい。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 平等院鳳凰堂
2. 鹿苑寺金閣
3. 厳島神社
4. 中尊寺金色堂

問6　平安時代、藤原氏が天皇の外戚（母方の親戚）として権力を握った政治体制において、天皇が幼少のときにその代わりを務めた役職と、天皇が成人した後にその補佐を執り行った役職の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2020年 徳島県公立入試 類似）

1. 摂政と関白
2. 上皇と法皇
3. 将軍と執権
4. 太政大臣と右大臣

問7　桓武天皇が794年に、都をそれまでの平城京から平安京へと移した主な理由として、当時の政治的背景を正しく説明しているものはどれですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）

1. 全国で流行した疫病を鎮めるために、大仏を建立するための新しい土地が必要だったため
2. 平城京が相次ぐ洪水や地震によって壊滅的な被害を受け、都としての機能を失ったため
3. 唐の長安を模した都を初めて建設することで、日本の国威を海外に示すため
4. 奈良の大きな寺院などの仏教勢力が政治に介入するのを防ぎ、天皇中心の政治を立て直すため

問8　8世紀末から9世紀初めにかけて、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山を拠点として天台宗を広めた人物は誰ですか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）

1. 行基
2. 最澄
3. 空海
4. 鑑真

問9　藤原道長が、「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも なしと思えば」という歌を詠んだ時期の背景として、最も適切なものはどれか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. 律令制度が崩壊するなかで、独自の新しい法律を制定し、天皇に代わって直接国を統治するようになった。
2. 源氏や平氏といった武士の台頭を抑え込み、貴族だけの平和な世の中を維持することに成功した。
3. 末法思想が広まり社会が不安に包まれるなか、極楽浄土へ行ける確信を得たことを感謝した。
4. 自らの三人の娘がそれぞれ天皇のきさきとなり、摂政・関白として権力の絶頂に達していた。

問10　平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本の風土に合った国風文化が栄えました。この時期にかな文字を用いて執筆され、主人公である光源氏の生涯を描いた、世界最古の長編小説とも評される文学作品を選びなさい。（2024年 島根県公立入試 類似）

1. 源氏物語
2. 枕草子
3. 竹取物語
4. 更級日記

問11　日本の歴史における支配体制の変遷を整理した際、鎌倉・室町・江戸の三つの幕府はいずれも武士による政治を行いましたが、それ以前の桓武天皇の時代には異なる政治の仕組みが追求されていました。桓武天皇が平安京へ遷都した主な目的とその内容について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 岡山県公立入試 類似）

1. 大陸との貿易を統制して将軍の財政基盤を固め、南北に分かれていた朝廷を統一するため。
2. 大名を親藩・譜代・外様に分けて配置し、武家諸法度などの法律で厳格に統制するため
3. 守護や地頭を全国に配置して土地の管理を武士に委ね、地方の治安維持を強化するため。
4. 奈良の仏教勢力の影響を排除し、天皇が官僚を通じて全国を直接支配する律令政治を再建するため。

問12　平安時代初期に空海や最澄がそれぞれ新しい宗派を開いた背景には、当時の仏教のあり方に対する強い危機感がありました。その背景として最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2017年 神奈川県公立入試 類似）

1. 遣唐使が廃止されたことで大陸との交流が途絶え、日本独自の仏教をゼロから作り直す必要が生じた。
2. 大規模な飢饉や疫病が流行したため、文字の読めない庶民でもすぐに救われるような簡単な教えが求められた。
3. 武士が政治の実権を握り始めたため、戦乱による社会不安を取り除くための新しい救済策が必要となった。
4. 奈良時代に仏教が政治と密接に結びついて権力を持ったため、そこから距離を置いて修行に専念しようとした。

問13　平安時代中期、遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達しました。かな文字の使用により『源氏物語』などの優れた文学作品が生み出された、この時期の文化の名称として正しいものを選びなさい。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 国風文化
2. 弘仁・貞観文化
3. 平泉文化
4. 天平文化

答え合わせ・解説

問1	答え 2 仮名文字	平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本の風土や感性に合った「国風文化」が発達しました。この時期に、漢字を崩して書く「ひらがな」や、漢字の一部を取った「カタカナ」といった「かな（仮名文字）」が発明されました。これにより、漢字だけでは表現しにくかった日本人の感情や考えを自由に書き記すことが可能になり、紫式部による『源氏物語』などの優れた宮廷文学が誕生しました。
問2	答え 2 平清盛	平清盛は伊勢平氏の出身で、保元・平治の乱を経て武士として初めて最高官職である太政大臣に就任し、「平氏にあらずんば人にあらず」と言われるほどの全盛期を築きました。経済面では日宋貿易を重視し、大型船の航行を安全にするために瀬戸内海の航路を整備したり、大輪田泊の修築を行ったりしました。
問3	答え 1 天皇を中心とした律令政治の再建を目指して始まったが、のちに藤原氏による摂関政治や上皇による院政が行われ、最終的に武士が実権を握る体制へと移行した。	平安時代は、桓武天皇が奈良の仏教勢力の影響を離れ、律令政治を立て直そうとして平安京へ遷都したことに始まります。しかし、時代が進むにつれて藤原氏が摂政・関白として権力を振るう摂関政治や、退位した天皇が政治を行う院政が展開されました。その過程で軍事力を持つ武士が台頭し、源氏が鎌倉幕府を樹立することで中世へと時代が変わりました。
問4	答え 1 平等院鳳凰堂	平安時代中期、藤原頼通によって建立されたこの建築物は、阿弥陀如来を本尊とし、当時の貴族の間で流行した浄土信仰を象徴しています。池の中に建てられた姿は、極楽浄土の宮殿を再現しようとしたものと言われています。
問5	答え 4 中尊寺金色堂	藤原清衡が、相次ぐ戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、仏の教えに基づいた平和な理想郷を建設しようとして建立しました。当時、東北地方で豊富に産出された金（産金）や、海外との交易で得られた螺鈿（らでん）細工などが贅沢に使われており、北方の王者にふさわしい富を示しています。
問6	答え 1 摂政と関白	平安時代中期、藤原氏は自分の娘を天皇の妃にし、生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の祖父や叔父として政治の実権を握りました。このとき、天皇がまだ幼い時期には「摂政」として、成人してからは「関白」として政務を独占する形態を摂関政治と呼びます。藤原道長やその子の頼通の時代に、この政治体制は全盛期を迎えました。
問7	答え 4 奈良の大きな寺院などの仏教勢力が政治に介入するのを防ぎ、天皇中心の政治を立て直すため	奈良時代後半には僧の道鏡が政治に関与するなど、仏教勢力が政治に強い影響力を持つようになっていました。桓武天皇は、これら古いしがらみがある奈良の土地から離れることで、律令に基づいた政治の刷新を図りました。一方、疫病を鎮めるために大仏を建立したのは奈良時代の聖武天皇の事績です。
問8	答え 2 最澄	平安遷都を行った桓武天皇の支持を受け、比叡山に延暦寺を建立して天台宗を開きました。同時期に活躍した空海は高野山を拠点に真言宗を、鑑真は奈良時代に戒律を伝えた人物、行基は民衆への布教と大仏造営への協力で知られる人物です。これらを混同しないよう区別する必要があります。
問9	答え 4 自らの三人の娘がそれぞれ天皇のきさきとなり、摂政・関白として権力の絶頂に達していた。	この歌は、藤原道長の三女である威子が天皇の中宮（きさき）になった際の祝宴で詠まれたものです。道長は自分の娘を次々と天皇の后にすることで、後の天皇の祖父という確固たる地位を築きました。この満月（望月）に例えた表現は、摂関政治が最も繁栄した時期の様子を象徴しています。道長と、その後の頼通の父子の時代が、藤原氏の全盛期にあたります。
問10	答え 1 源氏物語	平安時代には、漢字を日本風に崩した「かな文字」が普及したことで、貴族の女性らによる優れた文学作品が多く誕生しました。一条天皇の后である彰子に仕えた紫式部は、当時の貴族社会の人間模様を精密に描いた『源氏物語』を執筆しました。これは全54帖からなる壮大な長編小説であり、日本を代表する古典文学として知られています。
問11	答え 4 奈良の仏教勢力の影響を排除し、天皇が官僚を通じて全国を直接支配する律令政治を再建するため。	桓武天皇が目指したのは、武士が台頭する以前の、律令に基づく天皇中心の中央集権体制の立て直しです。当時、平城京（奈良）では寺院勢力が政治に深く介入するようになっていたため、そこから物理的に距離を置くために遷都が強行されました。選択肢にある守護・地頭の設置は鎌倉時代、南北朝の統一は室町時代、幕藩体制の構築は江戸時代の特徴であり、桓武天皇の政策とは時代背景が異なります。
問12	答え 4 奈良時代に仏教が政治と密接に結びついて権力を持ったため、そこから距離を置いて修行に専念しようとした。	奈良時代の仏教は国家の保護を強く受け、僧侶が政治に深く関与するようになっていました。桓武天皇による平安京への遷都も、こうした奈良の仏教勢力の影響を断ち切る目的がありました。空海らは、政治の影響を受けにくい山の中に拠点を構え、学問や厳しい修行といった仏教本来の姿を追求しました。これが真言宗や天台宗といった新しい仏教が貴族の間で受け入れられた大きな理由です。
問13	答え 1 国風文化	894年に遣唐使が廃止されると、それまで中国から取り入れてきた文化を、日本人の感性や生活に合わせて消化・吸収する動きが強まりました。これを国風文化と呼びます。この文化の特徴は、漢字を崩して作られた「かな文字」の発達にあり、これによって貴族女性らによる豊かな文学表現が可能となりました。